



第45号

新潟市秋葉区新津東町
1丁目12番9号

新津工業高等学校内
同窓会事務局

TEL0250(22)3441



同窓会長就任ご挨拶

同窓会長 高塚 則明

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で、ご活躍の事と拝察いたします。

評議委員会の推薦、同窓会総会で承認を頂き、この度、岡村会長の後を受けて会長を務めさせていただきます。八回電子科卒の高塚則明と申します。会員数約一万数千名を擁する新潟県立新津工業高等学校同窓会、そして歴代会長が築かれました伝統と歴史を考えますとその責務の重さを痛感いたしますと共に身の引き締まる思いが致します。

長きにわたり岡村会長の元、補佐役として努めてはまいりましたが浅学菲才な私で御座います、皆様のあたたいご支援・

を集める工業高校になってい

ご協力を頂き、来年度創立五十年を迎えます母校と同窓会発展の為、微力では御座いますが頑張る所存で御座います。

昨今の経済状況、少子化、中学卒業生の普通科指向等、工業高校をとりまく環境が非常に厳しい状況では御座いますが、同窓会の役割を果たし、新津工業高等学校の発展に少しでも寄与できればと考えます。

母校では、いち早く学科改変に取組み工業マイスター科、生産工学科、ロボット工学科という学科編成で新しい工業高校に生まれかわりました、更に来年度は日本建築学科を新設いたします、一時は廃校も危惧されておりました母校は現在最も注目

す。

同窓会の本来の目的である会員相互の交流と親睦を図りつつ、若い方の同窓会活動への参加を呼びかけ活性化を図って行きたいと思えます。最後になります。長年にわたり会長としてご尽力頂きました岡村前会長に感謝の意を表しますと共に会員の皆様より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、来年度行われる「創立五十周年記念事業」が盛大に執り行えますよう、実行委員会を中心にさまざまな計画をしております。母校の五十周年という大きな節目を同窓会会員の皆様と一緒に祝い、益々の発展を期すため皆様からの更なるご協力をお願いいたします。



「進化を遂げた新津工業高校」

学校長 江口 司

本校は来年度創立五十周年を迎えます。節目でありますので、学校の沿革をご紹介します。

技術者の養成が急務であるという時代の要請と、旧新津市に工業高校を設立したいという地元の高い熱意により昭和三十八年に開校されました。産業の基幹である機械科と電気科が設置され、昭和四十年より電子科を増設し、平成四年度より機械科四学級のうち二学級を機械システム科に転科して、生産技術の変化、進路希望の多様化に対応し、総合的な工業高校として前進を続けてきました。一学年九学級という時代もありました。その後は、時代の推移につれて学級が減少し、一学年二学級募集まで縮小しました。しかし、平成十八年度に学科改編と一学級増の計画が公表され、平成二十一年度より、工業マイスター科と生産工学科が誕生しました。さらに、平成二十三年度からロボット工学科が新設され一学年四学級募集となり、実践的な技能・技術の習得を目指す県内では類をみない特色ある工業高校として生

まれ変わりました。特に本年度は、工業マイスター科と生産工学科が三年生まで揃いロボット工学科が一年生として入学し新津工業高校となった年です。ものづくりの学校として地域はもとより、県内でも知られています。

さらに来年度、日本建築科（一学級、三〇名募集）が新たに新設されます。日本建築科は、大工技能の習得を柱にした学習内容とし、実践的な技術指導を取り入れた実習を行い、日本建築の伝統・技術を学びながらその技能を習得し、匠を志す人材を育成する科です。このような特徴を持つ学科は、熊本県と高知県の二つしかなく、新津工業高等学校日本建築科は、全国で三校目、本州では初めての学科となります。

現在、日本ではものづくりの基礎をなす技能・技術が見直されています。工業立国日本の伝統をこれからも後生に伝えていかなければなりません。その重責を担う高校として本校の意義があるのです。

柔道北信越大会

ありがとうございました



三年二組
櫻井 恭一

私は、春の県大会で北信越大会への出場権を手に入れました。最後の年に出場することができて、とても嬉しかったです。

今年の大会は長野県で行われました。昨年は緊張して、動きがガチガチでしたが、今年は緊張せずに試合を行いました。途中、ケガをしたりしましたが、運が味方してベスト8に入る事ができました。

この結果は、皆さんの応援のおかげです。3年間柔道を教えて下さった大倉先生、共に練習を頑張ってきた仲間達、様々な事を教えて下さった先輩方、応援して下さいました。本当にありがとうございました。



溶接コンクール

出場して



三年一組
志田 慎弥

今回二度目の溶接コンクールという事で、去年の大会よりも上位を目指そうと思っていました。しかし、半年以上も溶接をしていないとさすがに腕が鈍っていてうまく出来るようになるまでに時間がかかりました。

大会当日、コンディションは完璧でしたが、いざ本番となるととても緊張しました。

途中、溶接機のトラブルがあり焦った場面もいくつかありましたが、いつもの練習を思い出しながら集中するように心がけました。

結果は優良賞で、去年よりも一つ低い賞でしたが、二年連続で賞状をもらったので嬉しかったです。二年、三年と貴重な体験をすることができ、非常に勉強になりました。



溶接コンクール

出場して



二年一組
白井 遥希

4月23日に神奈川県川崎市の溶接コンクールが開かれました。その溶接コンクールに自分は新潟工業の代表、そして新潟県の代表として出場しました。

コンクールの代表に選ばれたときは、とても不安でした。

前日から神奈川県に入り、会場の下見をしました。個人のブースが並んでいて、実感がわきました。

大会当日はとても緊張しました。緊張や工具の違いにより、あまりうまく出来ず15位と言う結果に終わりました。とても悔しかったです。しかし、とても良い経験ができたと思います。

この経験を活かしていきたいと思いました。



2011年 7 月 絆より

生徒会新聞 阿賀野より



体 育 祭

2011

新入生のことば

(PTAだより絆 2011年7月第71号より)



入学して
一年一組
久保田尚人

僕が新津工業高校に入学してから三ヶ月が経ちました。入学した時の僕は新しい学校でうまくやっていけるのか不安でした。しかし、毎日学校で過ごしている内に少しずつクラスの雰囲気にも慣れて、楽しい学校生活になっていきました。

学習面では、今までやったことがない工業系の授業があり、集中しないとすぐ分からなくなってしまうので大変ですが、少しずつ理解して身につけていきたいと思います。

高校生活はまだ始まったばかりで分からないこともたくさんありますが、一日一日を楽しく過ごしていきたいと思っています。



入学して
一年二組
清水 一孝

僕は中学の頃から工業系の学校に入学したいと思っていました。新津工業高校に入学できてとてもうれしく思っています。

入学したばかりの頃はなれない学校生活でしたが、三ヶ月経った今では新しい仲間や部活の先輩とも輪が広がり楽しく過ごしています。これからの三年間はプラス思考で物事を考えていき、授業をしっかり聞いて知識と技術を身につけ、努力する所はしっかりと頑張りたいと思います。

自分で選んだ高校なので、卒業するときはこの学校の生徒で良かったと思えるように様々な事に取り組み、仲間と助け合って充実した日々を過ごしたいと思っています。



入学して
一年三組
小庄司誠優

僕が新津工業高校に入学して三ヶ月が経ちました。早いような遅いような気がします。入学当初は高校環境や新しいクラスメイトなどで、慣れるのに時間がかかりました。でも、日が経つにつれていろんな人と仲良くなって高校生活に慣れてきました。

学習面では、中学校になかった工業関係の授業があり、内容も決して簡単ではないので、学ぶのが大変です。だけど、頑張つて学びたいと思っています。



入学して
一年四組
白根 思海

僕が新津工業高校に入学して三ヶ月が経ちました。入学当初は高校環境や新しいクラスメイトなどで、とても緊張しました。でも、日が経つにつれてほぐれていき、今は高校の環境に慣れ、クラスにも溶け込んで毎日充実した生活を過ごしています。

学習面では、今までにない工業関係の授業がたくさんあり、内容も決して簡単ではありません。なので、普段の授業で集中して身につけたいです。

まだまだ高校生活はスタートしたばかりです。高校生らしい服装や態度を乱さず、新津工業高校の生徒として恥ずかしくない生活を送っていききたいです。

企業の努力



3年1組
五十嵐和也

今回は北越紀州製紙株式会社へ訪問させていただきました。

まず、会社の説明を受けて驚いたのが、原料から材料と燃料を取り出して無駄なく活用しているところです。木材チップは繊維を取り出してパルプを作るだけだと思つていましたが、含まれる樹脂を燃料に使用する事で無駄を減らし、CO₂の発生も少なくなるということが分かりました。

続いて、実際に製作している場所へ案内していただきました。入って驚いたのは、音です。隣の人の声も聞こえないぐらの音が響いていました。見学の中で、「企業が考えているのは、どうやってお客様様に喜んでいただくかということ」と話されていました。私自身も、社会人となった際には、この思いを大切にしたいと思えました。

工場見学



3年2組
浅間 健太

私達が、今回見学させて頂いたのは北越紀州製紙さんです。そこは紙を製造する工場で、初めはたいして大きくない工場をイメージしてました。しかし、予想の数倍も大きく驚きました。中もすごく広く見たことのない機械が多く本当に驚く事ばかりでした。

企業の方の話の聞いたらCO₂の排気量が工場の平均の半分だそうです。その事を聞いて、この工場はお客様や環境の事を考えていてすごいと思えました。

私は、今回の工場見学で工夫や相手への気遣いが良い結果につながると思いました。この工場見学で学んだ事をこれから先に活かして、社会人として認められるよう、努力していききたいと思います。

工場見学



3年3組
宮嶋 翔

私達は、今回北越紀州製紙株式会社新潟工場へ見学に行きました。北越紀州製紙は主に紙、パルプ製品の製造販売を行っている会社です。作られた紙は、漫画や小説、お菓子の箱などの商品に使われています。

工場内には、8個のマシンがあり今回見学したのはその中でも9号抄紙機といわれる世界最大級のマシンです。全長223mマシンを従業員4人という班長一人で動かしているという事を聞いてとても驚きました。他に、工場内には製品輸送用のコンテナ専用線がありそれを利用して二酸化炭素の排出削減につながっている事にとっても好感が持てました。

今回の工場見学では、環境対策などの工業以外の事でもたくさんのお話を学ぶ事ができました。

工場見学



創立五十周年記念事業のご案内

母校の五十周年という大きな節目を、同窓会会員の皆様と一緒に盛大に祝いたいと計画いたしました。ご協力とご参加をお願い致します。

- 期 日／平成24年10月20日(土曜日) 受付：8:30より
- 記念式典／AM9:30～AM10:30(予定) 会場：母校体育館
- 記念講演／AM10:30～AM12:00(予定) 会場：母校体育館
講師：古賀 稔彦 氏(バルセロナオリンピック柔道71kg級金メダリスト)
- 同窓会記念総会／PM1:00～PM1:30(予定) 会場：キャトルセゾン(新潟市秋葉区新津4521-2)
- 記念祝賀会／PM1:30～PM3:30(予定) 会場：キャトルセゾン

※その他として五十周年記念誌の発行(別紙協力金2口以上の方へ送付)送付は記念誌完成後(H24.10月予定)となります。

平成22年度末 平成23年度始 教職員の異動状況

〔転出〕

- 村田 幹夫(校長) 新潟工業高校へ
- 江口 司(教頭) 新潟工業高校へ
- 玉木 健二(工業) 新発田南高校へ
- 原田 清樹(理科) 帝京長岡高校へ
- 渡邊 智幸(地歴公民) 山田ユリ子(数学) 佐久間俊承(数学) 吉川 典子(英語) 熊倉 孝好(工業)
- 〔退職〕 田辺 明(事務長) 涌井 猛(工業)

〔転入〕

- 江口 司(校長) 高橋 俊司(教頭) 柴澤 昌夫(事務長) 大泉 一幸(数学) 石田 勝幹(理科) 熊倉 正則(英語) 和田 正(工業) 松原 直樹(工業) 山田 雅康(工業) 妻木 敦(工業) 津田遼太郎(工業) 渡辺 義徳(工業) 阿部 昌稔(工業) 勝又 正史(工業) 福嶋一 勢子(国語) 田淵 将天(地歴公民) 白井 久雄(数学) 伊藤 治好(理科) 渡辺 政紀(美術) 神林 隆英(英語)

新潟県立新津工業高等学校同窓会の ホームページをアクセスしてみてください。

学校の情報とあわせて同窓会からの情報を発信しますので、ぜひご利用ください。

【ホームページURL】

<http://www.nin.ne.jp/~hisyou>

同窓会役員名簿



顧問	顧問	顧問	顧問	会計監査	会計監査	幹事	幹事	幹事	会計	書記次長	書記長	副会長	副会長	副会長	会長
岡村	斎藤	間野	小柳	藤原	大野	熊倉	妻木	安中	島倉	昆	斎藤	石黒	笠原	長谷川	高塚
茂	久	雄	一	繁	也	正	敦	重	弘	喜	靖	利	悦	貢	明
(1M)	(1M)	(2E)	(1M)	(5e)	(15M)				(6E)	(11e)	(20e)	(14e)	(6M)	(5M)	(8e)